

2020 年度

事業計画書

2020 年 6 月

公益財団法人 ブルボン吉田記念財団

2020 年度事業計画

定款第4条に掲げる事業として、下記の事業を行います。

(1)学資金の貸与又は給付

学力優秀でありながら経済的な事由等により修学が困難な学生に対する奨学援護。

目的:奨学事業を通じて、次世代を担うグローバルな人材の育成や公衆の教養の向上、心身の健全な発展に寄与する。

●2020 年度計画

①奨学金の貸与

4月分から毎月15日に親権者預金口座に振込む。(前年より新1年生からは本人口座への振込みに変更)下記学年は新学年(5年生は薬学部1名・1年間休学者1名、6年生は歯学部1名)

※6/22 現在・4～5月にて退学及び休学者含む、年間貸与額は4.5月実績含む

対象者	人員	1名当年間貸与額	年間貸与額
大学生	6年生 (1名)	月額 30,000 円×12 か月 = 360,000 円	360,000 円
	5年生 (2名)	月額 30,000 円×12 か月 = 360,000 円	720,000 円
	4年生 (10名)	月額 30,000 円×12 か月 = 360,000 円	3,600,000 円
	3年生 (23名)	月額 30,000 円×12 か月 = 360,000 円	8,340,000 円
	2年生 (23名)	月額 30,000 円×12 か月 = 360,000 円	8,310,000 円
	1年生 (19名)	月額 30,000 円×12 か月 = 360,000 円	6,840,000 円
	合計 78名		28,170,000 円

②奨学金の返還

・2020年3月卒業生を対象に、奨学金借用証書及び返還予定書を提出指示。

・2019年度以前の卒業生を対象に、奨学金の返還指示及び諸通信の連絡。

・2020年度返還額予定額(返還予定書より算出) 19,757,830 円

③第45回(2021年4月進学)奨学生募集活動計画

・奨学生対象エリア～新潟県、山形県、長野県、福島県に新たに青森県、秋田県、岩手県、宮城県を加える(新潟県、長野県、東北6県となる)。

・募集人員:大学生25名

・募集要項の発送 10月上旬

募集要項の発送の前に、対象県の教育庁高等学校教育課を訪問し、当財団の奨学金制度についての各高等学校への周知をお願いする。

・対象校:高等学校 847校 新潟県 142校 山形県 77校 長野県 126校 福島県 126校
青森県 93校 秋田県 69校 岩手県 96校 宮城県 118校

・募集締切:2020年12月下旬

・第一次選考委員会:2021年1月下旬

・第一次選考委員会にて定員未達の場合は、二次募集を行う(締切は2月28日)

・2月上旬に選考結果を通知し、一次合格者のうち進学決定者を採用し、4月上旬に決定する。

(2)文化資料館、博物館、美術館等の設置、運営

文化資料館「ドナルド・キーン・センター柏崎」の運営。

目的:2013年9月に開館した「ドナルド・キーン・センター柏崎」の運営とその企画事業において、ドナルド・キーン先生の執筆・翻訳・教鞭活動に関する資料の収集・展示を通じ、日本文化や日本文学の素晴らしさを再発見する場を提供する。

*ドナルド・キーン先生は、2019年2月24日(日)に逝去されました。当センターでは、今後もキーン先生が取り組み続けて来られた平和への思いや日本文学、日本文化の素晴らしさを展示や講演会等を通して伝え続けて参ります。これまで、開館以降のキーン先生の講演活動や著作・出版等については展示・紹介がなかったため、キーン先生を慕う来館者からは、開館以後のキーン先生の歩みや活動について知りたい、または日本文学研究の原点を見つめた特別企画展を常設展示化してほしい、などの声が多数寄せられておりました。当センターは、これらの声に応え、英文による展示概説と英語による音声ガイド(7月予定)を新たに加えて、2020年4月1日(水)にリニューアルオープンの予定でした。

しかしながら3月からの新型コロナウイルス感染症の影響にて、リニューアルオープンを2度延期し、結果6月10日(水)からのオープンとなり、またその間各種の除菌等の対策を講じるとともに、講演会やイベント等についても当面の間実施を控えることとしたため、事業計画を修正しております。

本年度の「ドナルド・キーン・センター柏崎」関連の事業計画は以下の通りです。

【ドナルド・キーン・センター柏崎の常設展示の運営】

目的:キーン先生の今日までの歩みや仕事を常設展示し、来館者に日本文学を愛するドナルド・キーンという人間を知ってもらうと同時に、日本文学、日本文化の面白さ、素晴らしさを発見、認識してもらう。また、ニューヨークに存在したキーン先生の書斎を復元・展示して、90歳で日本人となったキーン先生の日本への愛を感じてもらい、日本と日本人を見つめ直す場とする。

開館期間 6月10日～12月25日 休館日 毎週月曜・火曜

冬季休館期間 12月26日から3月31日

年間開館日数:143日 来館者計画:1,500人

(2019年4月1日～2020年1月31日実績 3,097人(前年伸張率 48.4%)

(2018年4月1日～2019年3月31日実績 1,755人(前々年伸張率 85.5%)

事業収入目標額 600,000円 (1,500人×400円=600,000円)

●2020年度計画

【キーン先生の日本文化・日本文学研究の「志」を広く市民の心に宿し、実践につなげる活動を行なう】

- ①キーン先生や展示内容に関連するイベント(講演会、ギャラリートーク等)の開催
- ②キーン先生の研究テーマに関する連続講座(オペラ講座・古浄瑠璃連続講座等)の開催
- ③センター所蔵のSPレコードやLPレコードの鑑賞会の定期開催

【企画展の計画】

目的:常設展示だけでは、伝えきれないキーン先生の多彩な文学研究の世界を、企画展示として紹介し、日本文学の魅力を、日本文化の素晴らしさを思い起こさせる一助とする。2020年度は、春のリニューアルにて特別企画展示スペースを縮小し、これまでの特別企画展示の一部を常設化することもあり、別途企画展は計画しておりません。

【出張展示企画展(巡回展)】

他の記念館、図書館、官公庁や企業、学校等の施設にてドナルド・キーン・センター柏崎の所蔵品や過去の特別企画展にて製作した展示パネル等を一定期間貸与し、展示していただくことで、当センターの知名度向上とドナルド・キーン先生が世界に発信し続ける日本文化、日本文学への造詣を深めていただくことを目的に開催する。

前年度は、開催場所にて講演会を実施することで、キーン先生の「志」を多くの方々の心に残し、また講師料による収益性の向上につなげるべく、東京都北区・日比谷図書館等との連携を行いました。2020年度計画においては、現時点では具体的なものはありません。

【センター主催:講(公)演会・定期セミナー等計画】

目的:常設展示や企画展の展示内容の深掘りやドナルド・キーン先生が永年にわたり、研究されてきた日本文学や造詣が深いオペラ等に関する講(公)演会セミナーを定期的で開催し、市民の文化意識の向上とともに、ドナルド・キーン・センター柏崎の持続性を高める。

●2020年度計画

①開館7周年記念猿八座公演「阿弥陀胸割(あみだのむねわり)」

当センター開館7周年記念イベントとして、猿八座公演を財団・センター主催として開催する。

日時:10月25日(日) 時間未定

会場:柏崎産業文化会館文化ホール

定員:400名程度

入場料:未定(公益目的事業収益)

②講演会・ギャラリートーク

キーン先生に関連した講師をお招きして開催。講演会は2020年度4回開催の予定。

会場:ドナルド・キーン・センター柏崎関連施設を使用

定員:50名前後

受講料:無料または500円～(公益目的事業収益)

[講演会]

日時未定 :講演内容は未定

講師:キーン誠己氏

会場:ドナルド・キーン・センター柏崎大型映像ホール

7~8月 :講演内容は未定

講師:ジャニー・バイチマンさん

会場:ドナルド・キーン・センター柏崎大型映像ホール

9~10月 :講演内容は未定

講師:井原真理子さん

会場:ドナルド・キーン・センター柏崎大型映像ホール

12月下旬:講演内容は未定

講師:ローレンス・コミンズ氏

会場:ドナルド・キーン・センター柏崎大型映像ホール

[ギャラリートーク]

4月1日:リニューアルオープンギャラリートーク、5月17日:国際博物館の日関連ギャラリートークを当初予定していたが、休館継続のため実施せず。今後については検討中。

③連続講座・講演会

展示内容の深掘りや、ドナルド・キーン先生が永年にわたり研究されてきた日本文学や、造詣が深いオペラ等に関するセミナーを定期的を開催していく。

[古浄瑠璃連続講座「古浄瑠璃をもっと楽しむ講座」]

開催時期・内容・受講料等は未定

講師:川村 知行 上越教育大学名誉教授 西橋八郎兵衛 猿八座座長 他

会場:ブルボン研修センター3階多目的ホール

[連続講演会「ドナルド・キーンが遺したもの」]

4月18日に予定していたものは、新型コロナウイルス感染症にて休館延期につき中止

7月18日:「ドナルド・キーンが遺したもの」第9回

講師:中津 義人 ドナルド・キーン・センター柏崎副館長

会場:ドナルド・キーン・センター柏崎大型映像ホール

受講料:無料(ただし入館料は必要)

9月19日:「ドナルド・キーンが遺したもの」第10回

講師:中津 義人 ドナルド・キーン・センター柏崎副館長

会場:ドナルド・キーン・センター柏崎大型映像ホール

受講料:無料(ただし入館料は必要)

11月21日:「ドナルド・キーンが遺したもの」第11回

講師:中津 義人 ドナルド・キーン・センター柏崎副館長

会場:ドナルド・キーン・センター柏崎大型映像ホール

受講料:無料(ただし入館料は必要)

[オペラ講座「キーン先生のベストオペラを楽しむ」]

6月20日に予定していたものは、新型コロナウイルス感染症にてイベント自粛により中止

8月22日:「キーン先生のベストオペラを楽しむ」第1回

講師:梅澤 精 新潟産業大学特任教授

会場:ドナルド・キーン・センター柏崎大型映像ホール

受講料:無料(ただし入館料は必要)

10月17日:「キーン先生のベストオペラを楽しむ」第2回

講師:梅澤 精 新潟産業大学特任教授

会場:ドナルド・キーン・センター柏崎大型映像ホール

受講料:無料(ただし入館料は必要)

12月19日:「キーン先生のベストオペラを楽しむ」第3回

講師:梅澤 精 新潟産業大学特任教授

会場:ドナルド・キーン・センター柏崎大型映像ホール

受講料:無料(ただし入館料は必要)

④「クレデンザを愉しむ会」(ボランティア主催)

柏崎市内のSPレコード愛好家のご協力を得て、キーン先生が愛したオペラの名曲を中心に蓄音機「クレデンザ」を使用して懐かしくも新鮮な音を楽しむ会としてボランティア主催にて開催。

4月から3月まで、毎月第2日曜日 13時～14時を予定していたが、休館延期・イベント等の自粛により、7月からの再開を計画している。

会場は、ドナルド・キーン・センター柏崎1階ロビー

【教育普及活動】

①副館長及び学芸係による展示解説会の開催

4月1日のリニューアルオープンギャラリートークを皮切りとして、期間内数回程度開催を目標に進める。HP等にて日程にて公表し、集客増にも結び付ける。会場は、ドナルド・キーン・センター柏崎2階企画展示室他。参加費は無料。ただし、入館料は必要。

②小中高校生向けの授業の一環としての「勉強会」の開催

「柏崎学」の一環として柏崎市教育委員会に協力要請。

ドナルド・キーン先生の「人となり」について、小学校(国語、道徳)、中学校・高校(英語)の教科書に取り上げられていることをきっかけとして、各学校に対し、案内を行い来館につなげる。(勧誘する地域は、今年度は、柏崎市とする)

勉強会は事前申し込み制として、副館長又は学芸係他スタッフが説明にあたる。なお、見学料は無料とする。

③柏崎高校探求授業への協力

2019年度実施の探究授業への協力実施を本年度もすすめる。またロビー展を利用した発表の場を作っていく。柏崎高校だけでなく、他の学校にも紹介して拡げていく。

【研究活動計画】

①展示資料及び収蔵資料のデータ化の完成とHP上での情報公開をすすめる。

②展示資料及び収蔵資料についてのキーン先生とのつながり(縁)の調査をすすめる。

③キーン先生の過去の講演録及び映像の一覧化をすすめる。

④財団報の作成準備～発刊。

【PR活動計画】

①柏崎市内の商店及び事業者への企画展ポスター、チラシの配布と掲示活動。

柏崎市内での周知向上を図る目的で、ボランティアの皆様の協力を得て実施する。

②新潟県人会・旅行会社・賛助会員(法人・個人)等にむけて、パンフレット等を発送。

③柏崎市の観光タクシー「ちょっ得タクシー」への協力(4月1日～12月25日)

④柏崎コミュニティ放送「柏崎発! ドナルド・キーンの世界」の継続により、地元での当センターの周知とキーン先生の理解度を深める。

⑤(株)ブルボン及び同社取引先への再告知・来館誘導推進。

⑥広告掲載(投入)

・ラジオ広告 2019年度は実施していなかったが実施に向けて再検討する

・新聞広告 新潟日報 2020年4月、6月、8月、10月 2021年3月

柏崎日報 2020年4月、6月、8月、10月 2021年3月

柏新時報 2020年4月、6月、8月、10月 2021年3月

読売新聞、朝日新聞について、県内広告代理店枠を利用した掲載を随時検討
・その他、観光・旅行雑誌への掲載を随時検討するとともに、新たな媒体掲出を積極的に検討・実施していく。

【地域連携への強化活動】

目的：ドナルド・キーン・センター柏崎が有するキーン先生由来のコンテンツを市民の皆様にも有意義に活用していただき、文化意識の向上に貢献する。

●2020年度計画

- ①古典を読む会公開講座開催への協力
- ②朗読会グループ「新潟ルネッサンスの会」朗読会開催の協力(会場提供)
- ③柏崎市内で開催される「オペラ講演」及び「文化事業」への「後援」又は「協力」の名義貸し。

【ボランティア組織の活動への協力】

ドナルド・キーン・センター柏崎の日々の運営に協力していただいているボランティア組織のイベント活動への協力及びボランティアの皆様の協力を得ることで当センターの周知と集客につなげる。

(主な協力内容)

場所の提供、HP等での告知、イベント参加者の展示見学希望者への団体割引適用
(計画されているイベント等)

ロビー展示会(年8回計画:休館延期により回数減も含めて現在調整中)

(協力依頼内容)

展示案内、ポスター配布等イベント広報活動(FMピッカラ「ドナルド・キーンの世界」への協力含め)、各種イベントの計画実行、センター主催イベントの実行委員参加、他

【褒賞事業への取り組み】

ドナルド・キーン先生の研究の功績を顕彰及び次世代の育成を目的とした「褒賞」事業を推進する。

前年度は諸般の事情で進展することができなかったが、本年度の事業においては、前年の計画を踏襲し、以下の活動を開始する予定です。

●2020年度計画

- ①理事懇談会の開催(1~2回)
 - ・褒賞事業内容案及び事業実施の為の組織案作成
 - ・パートナー企業の検討
 - ・外部準備委員案の作成提案
 - ・理事会への進行状況の報告
- ②有識者による外部準備委員会の開催(2回)
 - ・褒賞事業の実施要項等の作成
- ③調査研究費として、予算計上(1,000千円)

(3)文化・芸術・体育等に関する振興活動

目的:教育及び文化・芸術・体育等への振興に関する助成・協賛を行い、広く、教養の向上及び心身の健全な発展に寄与する。

① 文化芸能・スポーツ振興に対する助成事業(公募)

目的:文化芸能・スポーツイベントへの助成を通して、次世代への継承や次世代の育成及び公衆の心と身体健康増進に貢献する。

●2020年度計画

本年度においても、例年通り実施いたします。

- ・予算 文化芸能振興助成事業 100千円 体育等振興助成事業 100千円
- ・対象 各事業とも1件ずつとするが、応募状況・事業内容により予算金額の範囲内で変更の可能性あり
- ・2020年3月理事会にて、公募の承認
- ・HPにて公募(3月～4月)
- ・5月開催の理事会選考・承認
- ・該当団体に助成金の給付

②外国人留学生への研究助成事業

目的:次世代を担う外国人日本文学及び日本文化研究者の育成に貢献する。

●2020年度計画

本年度においては、運営資金・運営要員の不足という実情を踏まえ、前年度計画しておりながら具体的活動にすることができなかつた以下の活動を開始いたします。

- ・研究助成のプログラム内容の作成
- ・優秀な外国人留学生の選考及び受入れ先となる団体の選定
(候補:東京日本語学校、国際交流基金等)
- ・理事会への進行状況の報告

(4)公益目的事業に関連する物品販売(収益事業)

当財団の公益事業における「Donald・Keen・センター柏崎」にて、センター専用商品として製作したオリジナルグッズやKeen先生関連の著作本や翻訳本をセンター内にて販売します。

販売商品

- ・当センターオリジナルデザイン付きグッズ、図録の販売
- ・当センターの専用ロゴ(Keen先生直筆)を印刷した商品の販売
- ・Keen先生及び関連の著作本・翻訳本の販売

目標値

購入者目標人数 300人

(1,500人×20.0%:2019年度の購入者比率実績(20.5%)より)

事業収入目標額 435,000円

(300人×1,450円:2019年度の1人当購入金額実績(1,487円)より)

(5) 管理部門の計画

- ① 事務局内人材(学芸員・事務員とも)及び施設管理者・後継者の育成
- ② 安定した財団運営のための事業資金の調達と資産の整備
- ③ 地元主導、地元への貢献体制の確立
- ④ (一財)ドナルド・キーン記念財団他外部関係団体との協力体制強化
- ⑤ その他

上記の事業等を実施するにあたり、「2020 年度収支予算」は次項に記載。